

自転車の利用環境に関するまちづくりアンケート結果について

1 アンケートの概要

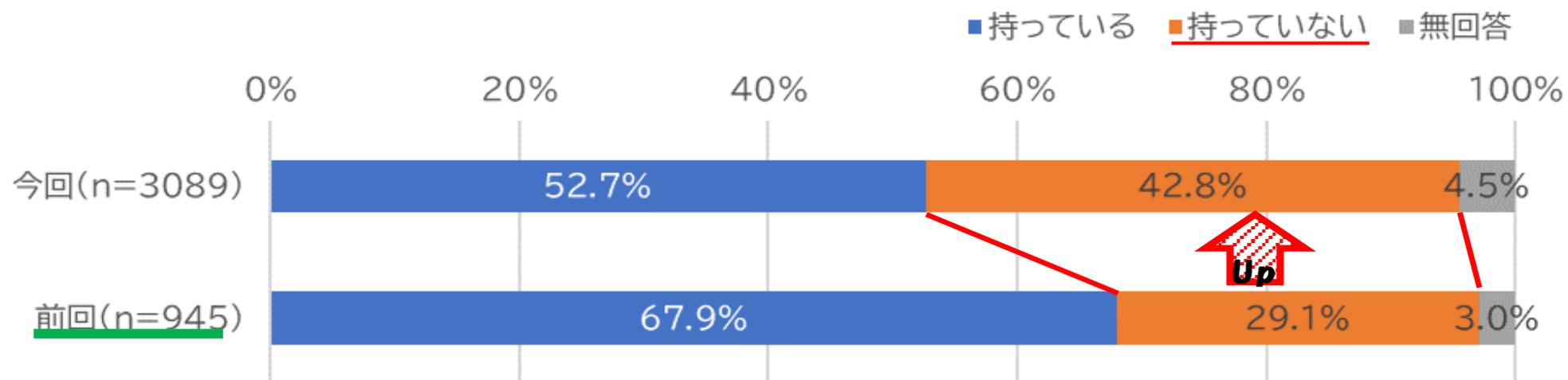
現行計画の達成度を図るとともに第2次計画への基礎資料とするため、現行計画策定時に行ったアンケートとの比較調査を実施しました。

	今回（令和5年度）	前回（令和元年度）
名称	令和5年度 まちづくりアンケート	自転車の利用に関する市民アンケート調査
目的	市政に対する市民ニーズ、市が実施する事業に対する考え方、意見、優先度などを調査し、今後の施策の基礎資料とするもの  市政全体に関するアンケート	長野市自転車活用推進計画の策定にあたり、長野市内の自転車交通の現状及び市民等の意識を把握し、計画策定に反映させること  自転車活用推進計画策定のためのアンケート
設問内容	自転車のほか、博物館・選挙・都市ブランドなど多岐にわたる	自転車に関する設問のみ
調査対象	長野市内に在住の18歳以上の男女	長野市内在住の20歳以上の男女
標本総数	5,000人	2,639人
調査期間	令和5年8月25日（金）から 9月8日（金）まで	令和元年11月13日（水）から 12月2日（月）まで
回収結果	回収標本数 3,089通 回収率 61.8%	回収標本数 945通 回収率 35.8%

2-1 調査結果一部抜粋 ～前回調査との比較～

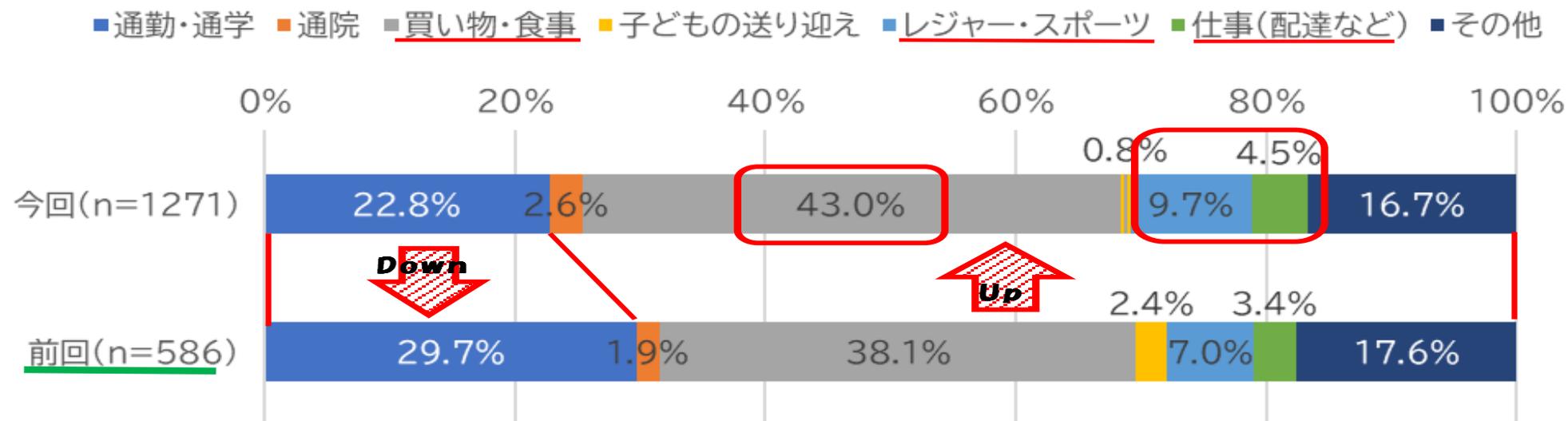
【自転車の保有状況】

「持っていない」と回答した人が、13.7%増加。自転車の保有率は下がっている。



【自転車を利用する主な目的】

「通勤・通学」が減少し、「買い物・食事」や「レジャー」「仕事」で増加がみられる。

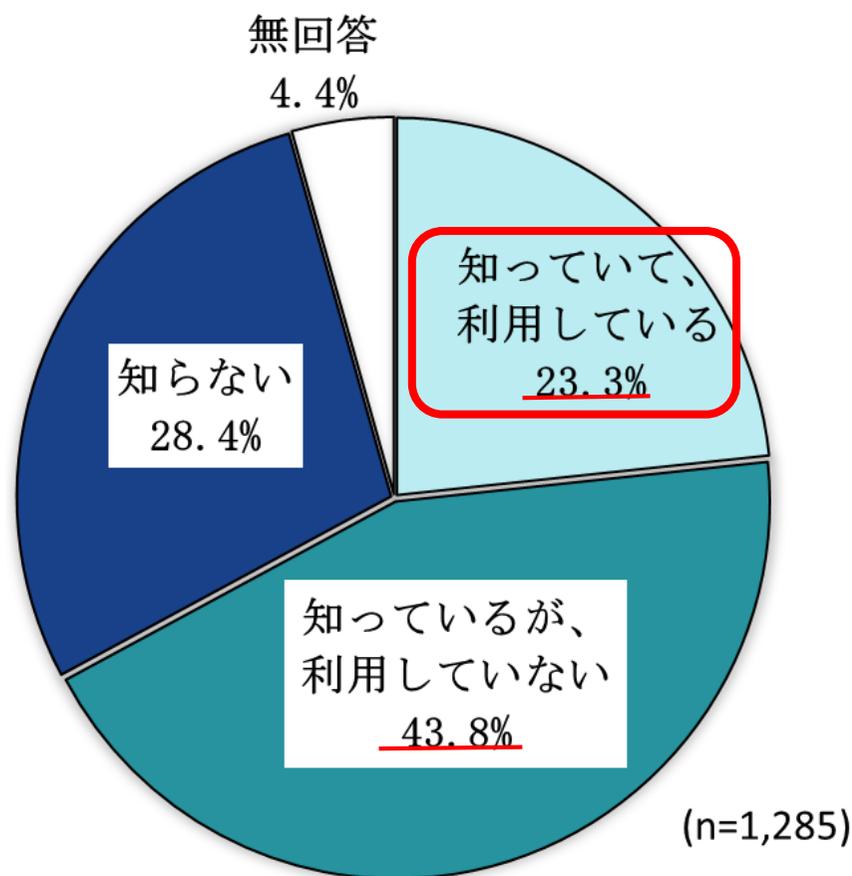


2-2 調査結果一部抜粋 ～前回調査との比較～

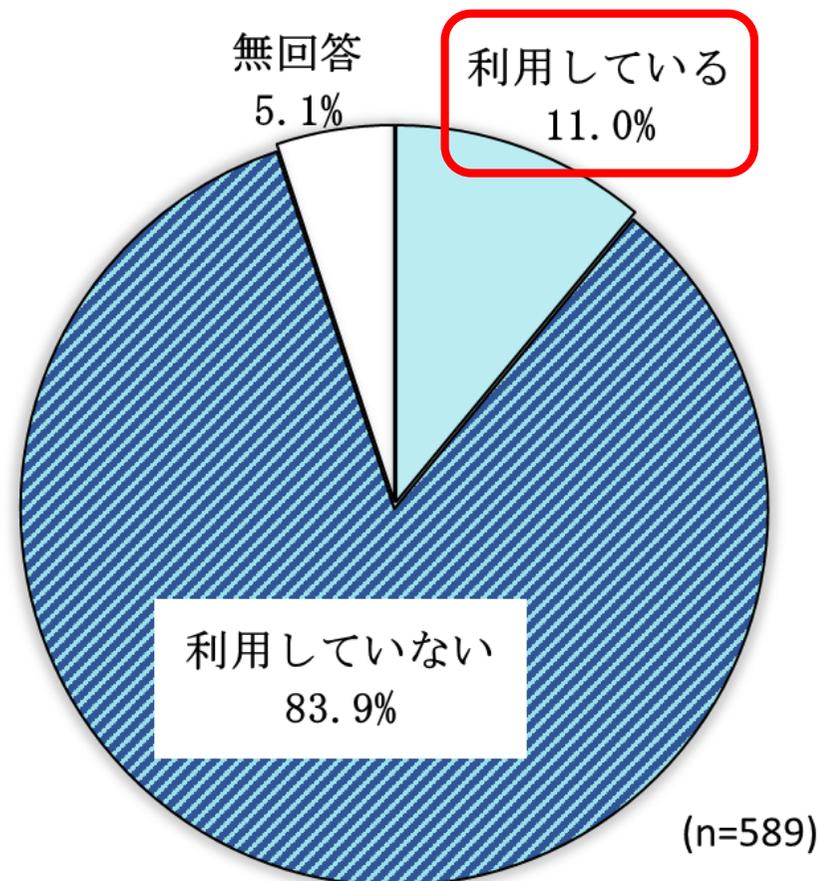
【市営自転車駐車場の利用率及び認知度】

「利用している」と回答した人が、2倍に増加。「知っている」という回答も67.1%と認知度は高い。

【今回】



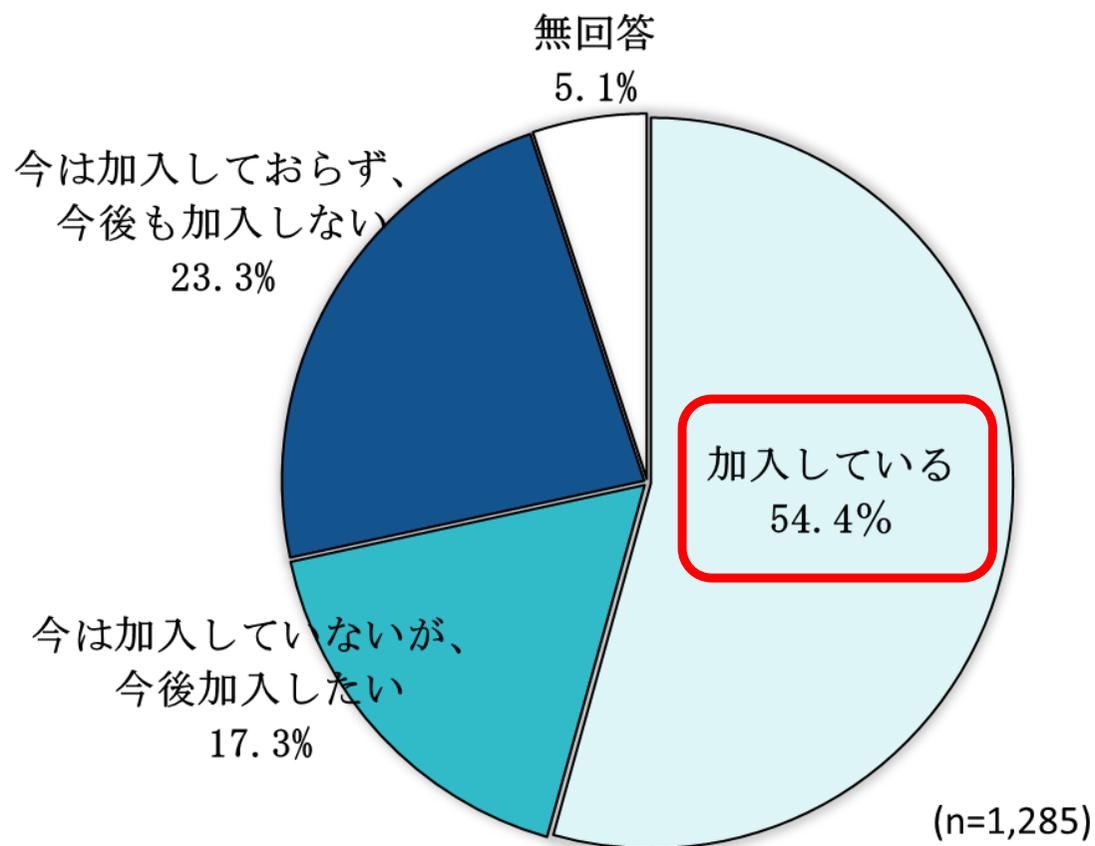
【前回】



【自転車保険の加入状況】

「加入している」と回答した人が過半数を超え、保険加入への意識は高まっている。

【今回】



【前回】

